

【令和2年度予算（案）10,394百万円（11,641百万円）】

【令和元年度補正予算（案）7,715百万円】

国立公園等の優れた自然風景地等の保護及び利用の推進と、中長期的な視点による効率的な施設管理を図ります。

1. 事業目的

- ①国立公園等の保護及び利用上重要な事業の実施並びに国民公園等の施設の整備・維持管理の実施
- ②「明日の日本を支える観光ビジョン構想（平成28年3月）」を踏まえた国立公園等における、外客受入環境整備
- ③国立公園等での自然環境の保全や消失・変容した自然生態系の再生
- ④施設の予防保全型管理水準の向上、中長期的な視点に立った効率的な施設の管理の実施

2. 事業内容

政府の重要課題である「自然と人間が共生する社会」の実現のためには、国立公園等の優れた自然風景地等の保護と利用を図り、安全で快適な自然とのふれあいの場の提供が必要。そのために、国立公園、国民公園等における施設整備や自然再生等の事業、長寿命化対策を実施し、国立・国定公園等において地方公共団体が行う施設整備等の事業について支援します。

- ・ 自然公園施設等の整備事業
- ・ 自然公園施設等の緊急対策【国土強靱化】事業
- ・ 自然公園等施設における気候変動、防災・減災対策の実施
- ・ 国立公園での自然再生事業、生態系維持回復事業、国指定鳥獣保護区の保全事業
- ・ 国が整備した施設等の維持管理
- ・ 国立・国定公園等で地方公共団体が実施する施設整備等の支援（交付金）
- ・ 自然環境等施設長寿命化対策に係る計画策定、改修工事
- ・ 国立公園で地方公共団体が実施する自然環境等施設長寿命化対策の支援

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業/交付金事業（国立公園50% 国立公園以外45%）
①請負事業：■ 民間、③補助事業：■ （地方自治体）
- 実施期間 平成6年度～

4. 事業イメージ

事例1：利用施設の整備



国立公園の利用拠点におけるビジターセンターの整備（阿蘇山上ビジターセンター）

事例2：気候変動ならびに防災・減災対策の実施



利用施設における再生可能エネルギーの利用の促進と蓄電池の設置による非常用電源の確保

事例3：長寿命化対策



施設の長寿命化計画に基づく対策（外壁補修）の実施